

## 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎とは、ウィルスや細菌が原因となって嘔吐、腹痛、下痢などの症状が出る病気の総称です。夏場や11月～12月に流行しますが、1月に入っても感染者数が多く、注意が必要です。

### ウィルス性

ロタウィルス・ノロウィルス・アデノウィルスなどで、主に冬場に発生します。

「嘔吐下痢」や「お腹の風邪」と言われます。

### 細菌性

サルモネラ・腸炎ビブリオ・病原性大腸炎などがあり、主に夏場に見られます。

「夏場の食中毒」の主な原因とされています。

### 症状

嘔吐・下痢・腹痛・発熱が主な症状です。

注意しなければならないのは、嘔吐・下痢による脱水症状です。嘔吐や下痢による水分喪失に加え、吐き気や腹痛による飲水の摂取不足で、脱水症状を訴える患者が多くなります。幼児や高齢者に感染しやすいとされていますが、流行期には成人でも十分に注意が必要です。



### 感染経緯

ノロウィルスなどは食品や調理した人の手などを介して感染し、ロタウィルスは経口感染します。どちらも集団感染しやすく、特に幼稚園や小学校、老人介護施設などでの集団感染が多くみられます。ノロウィルスの場合は、症状がなくなった後も2週間ほど糞便中にウィルスを放出し続けると言われるので、症状が治まってからも周囲への感染予防を心がけましょう。

### 予防と対策

ウィルス性の場合、ほとんどが感染患者との接触や汚染された水・食品を介して経口的に感染します。予防法としては、日頃の手洗いうがい（特にトイレの後や調理の前）の徹底と、家族に感染者がいる場合には、嘔吐物や便の処理の際にビニール手袋を使用し、汚物はビニール袋に入れて口をよく密閉してから廃棄しましょう。

嘔吐や下痢が止まらず、飲食を受付けない状態でも、必ず水分補給をしましょう。

胃に対する刺激の強い飲み物（柑橘類のジュースやコーヒー等）や消化が悪い牛乳などの乳製品は避けましょう。ミネラルの含まれるスポーツドリンク等を、常温で少量ずつ、頻回に補給する事をお勧めします。

また、汚染された可能性のあるもの（嘔吐後の床や、排便後のトイレ等）を消毒する際は、水ぶきや洗剤ではなく、次亜塩素酸ナトリウム入りの消毒薬を使用すると感染のリスクを軽減する事が出来ます。

**11月からアクラス中央病院も開院しましたね。**

**12月からはデンタルクリニック スマート(歯科)も開院しました。**

**早いものでピュアタウン薬局開局から2カ月、**

**地域に密着したサポートができるよう、ますます精進していきたいと  
スタッフ一同気持ちはひとつ☆**

**今年もあとすこし、皆様よいお年をお迎えくださいませ。**